

音楽研究会 部会記録					
日時	令和4年1月12日(水) 15:30~16:45				
部会名	音楽づくり		主任	彌榮 佳子	
参加数	10人	司会	武田 聖子	記録	平石 真希子
<p>研究部テーマ：音楽的な見方・考え方を働かせて、思いや意図をもって、協働的に学ぶ子どもの姿を目指して 部会テーマ：発想を得たり、思いや意図をもったりしながら、共に考え、つくった音楽のよさを感じることができ きる活動</p>					
研 究 内 容	<p>12月の一斉授業研の振り返り</p> <p>☆主任 彌榮先生より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個からグループではなく、グループから個の提案 <ul style="list-style-type: none"> ➡相談タイムの設定で協働的に学び、深め合う姿があった。 ・(ア) 即興の内容についての理解が深まった。 ・モデル演奏の提示➡次につながるモデルを選出することができた。 ・課題としては、常にこの形態での活動ではなく、6年間を通してのカリマネが必要。 ・(ア)の内容は、成果物だけで評価することは難しい。何度も試して修正していく姿を教師が見取っ ていくことの重要性と、評価の実際について、今後も考えていきたい。 <p>☆授業者 西場先生より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個の活動では、グループの中で折り合いをつける必要がないため、自分の思いを貫いた作品ができ たというよさを感じた。 ・本時終末のモデル演奏の提示で、子どもたちは第3時で、やってみたいなと思える発想を得たので、 最終的に作品がガラッと変わった子もいた。 ・思考を見取ることが難かった。(ワークシートのフリースペースは、あくまでもメモとして存在し ていて、全ての子どもが書き残しているわけではないため) ・本時を45分間で納めることができなかった。4人での相談タイムが必要だったか？ <p>☆全体で動画視聴</p> <p>(研究会当日に動画を見られなかった方、実際に授業を参観した部員からの報告や説明を加えて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談タイムでは、思考をアウトプットすることができ、言語化できていて良かった。 ・3分おきのアラームの設定は、躓きを支援するためには有効だったと思う。 ・今回の活動が成立したのは、みんなで作る経験(これまでの活動)がいきているのだと思う。 ・ワークシートや授業の計画が細やかで子どもたちが安心して活動できていた。 <p>☆藤田先生より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル演奏が良かった。(教師がねらっている姿を達成しているシンプルなモデルと、発展性のあ るモデル)音楽づくり部会で長年研究をしてきたテーマだったが、今回の提案で「次時に繋げるモ デル」を提示できたことは、研究会としての成果でもある。 ・動画の中の「ぼく、ここを迷っているんだよね」と相談していた姿がよかった。 ・音階をつかって、音楽づくりの場合には、約束ごとに「隣の音へ」は必須。自分のはっきりした 思いがある場合は、例外とする。 <p>☆佐藤先生より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが音楽をつくることを本当に楽しんでいました。 ・音をよく聴く環境だった。 ・手立てが細やかでよかった(掲示物・ワークシート・授業の流れ) 				

